



資料提供	
令和2年8月21日	
担当課	観光振興課
担当者	大谷・土井
電話	073-441-2424

## 日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」フォトコンテストを開催します！

和歌の浦日本遺産活用推進協議会では、日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」の構成エリア及び周辺地域の魅力を広く発信するために、下記のとおりInstagramでのフォトコンテストを実施します。テーマに沿って投稿いただいた写真の中から、それぞれ10枚を選入選作品として選定し、入賞者には特産品のプレゼントや写真展での作品展示も！

万葉の時代には刻一刻と変化する美しい情景がこのまま持ち帰りたいと和歌にも詠われ、今もなお時代を越え人々を魅了し続ける「絶景の宝庫 和歌の浦」、その魅力溢れる写真をぜひご投稿ください！

### 【フォトコンテスト概要】

▶ 応募期間： 令和2年9月1日(火)～令和2年11月30日(月)

▶ 募集テーマ： 【A】 #わかかのうら十景



万葉の時代には思わず持ち帰りたいほどの情景が和歌にうたわれ、江戸時代には和歌浦周辺の名所が「和歌浦十景」として描かれるなど、絶景の宝庫とされている和歌の浦。令和の今、新たな「和歌浦十景」の写真を募集します。

### 【B】 #撮っておきわかかのうら

あなたが誰かにおすすめしたい和歌の浦での“撮っておき”の楽しみ方（イベントや街歩き、体験型観光などでのワンシーン）を募集します。

▶ 応募について： ①和歌の浦エリアを訪れ、写真を撮影  
②Instagramのアプリをダウンロード  
③公式アカウント「和みわかやま」(@nagomi\_wakayama\_tourism)をフォロー  
④撮影した写真のテーマに沿って「#わかかのうら十景」または「#撮っておきわかかのうら」のハッシュタグを付けて投稿  
(応募期間中にご自身のInstagramアカウントを「非公開アカウント」に設定した場合は無効となります)

※Instagramでの応募に限らせていただきます。

▶ 結果発表： 令和3年1月～2月頃を予定  
日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」公式HPにて発表  
(入賞候補者にはInstagramのダイレクトメッセージで事前にご連絡いたします)

▶ 入賞： 【A】より10名様・【B】より10名様  
入賞された方には和歌の浦エリアの特産品をプレゼント(5,000円相当)

▶ 写真展： 令和3年3月上旬(予定)／和歌の浦アート・キューブにて  
入賞者の作品は写真展にて展示させていただきます！

▶ その他： 応募期間中に写真教室を開催します。詳しくは次ページを参照ください。

\*応募の際は、下記URLの「応募規約・注意事項等」を必ずご確認ください。▶

(<https://wakanoura-nihonisan.jp/news/photocontest.html>)



フォトコンテストの開催に加え、さらに…

誰でも参加可能

募集期間中講師をお招きし、写真教室を開催します！（参加費**無料**）  
前半はセミナー、後半は街歩きを楽しみながらお手持ちのカメラで写真撮影！

- ・ 9/27(日) 和歌山市 和歌の浦アート・キューブ 13:00～16:00(予定)
- ・ 10/18(日) 海南市 紀州漆器伝統産業会館うるわし館 13:00～16:00(予定)

※定員：各回15名様

※メールまたは郵送にて募集いたします。名前、住所、メールアドレス、性別、人数を記載してください。

※応募の際はタイトルに“和歌の浦フォトコンテスト写真教室の応募”としてください。

メール：doi\_a0029@pref.wakayama.lg.jp

郵送先：〒640-8585

和歌山市小松原通 1-1 和歌山県観光振興課(和歌の浦日本遺産活用推進協議会事務局)あて

### 写真教室 講師紹介

9/27(日)

山下 仁  
YAMASHITA  
HITOSHI



1960年生まれ 和歌山県出身。  
非公開写真集団「Sympathy」で遠嶋健二に師事する。  
2016年から小学校での写真指導も始め、学生全国写真コンテストにおいて金賞と入選を受ける生徒を育て、最優秀校を受賞。楽しく自分の感性で写真を撮ることがモットー。

10/18(日)

黒岩 正和  
KUROIWA  
MASAKAZU



1982年生まれ 和歌山県出身。  
大学卒業後、写真家 溝縁ひろし氏のアシスタントを経てフリー。  
18歳から野宿で東南アジア各国を放浪。その後、山岳少数民族の風習撮影のため、中国・雲南省に長期に渡り滞在。  
21歳より、日本の島の暮らし・祭事を撮影。(2020年現在 350島以上を撮影)